

南米の旅



江藤 ヤエ子

リオのカーニバルを見ようと、千葉の友人に誘われて二月下旬、南米に行った。八日間ツアーだが、前後二日は、アメリカ経由の移動日になり、見学は四日間である。ニューヨーク経由でサンパウロに着いた。ブラジル側のホテルに泊まったので、イグアスの滝を見るためには、アルゼンチンに入国してから、軽便列車で滝の近くまで行った。

ブラジルは三回目なので、前に来た時も滝は見ているのだが、アルゼンチン側からは初めてだった。水量も多く滝もあちこちにあり、写真を撮すのに大変だった。

昼食後は、ブラジル側を歩いて滝を眺めた。私は、前の記憶と違うので、ガイドに尋ねると、十年程前に道路も整備してコースも違うとのこととで納得した。オプショナルでは百三十ドルで、ボートで滝壺まで入るツアーがあったが、私は参加しなかった。行った人の話しでは、本当に滝壺の下までボートが入ったので、濡れたそうだ。水着で行くと書いてあった訳が判った。歩いている時、「鼻熊」という栗鼠より少し大きい動物も見た。長い尻尾があり、茶入りの縞になっていた。

翌日九時発で、ブラジル、アルゼンチン、パラグアイの三国国境地帯に行った。其処には下が黄色で上が緑色の塔が建ててあった。また滝から流れる川に架けてある橋の欄干も三国に色分けしてあった。黄色・緑・空色と白の縞とである。国旗の色だそうだ。

イグアス空港で日本食の弁当が配られた。昼



イグアスの滝を背に著者（左）と友人

過ぎの飛行機でサンパウロに向かう。機内でもサンドイッチが配られたので、お腹一杯になった。飛行機を乗り継いで、リオデジャネイロに移動してホテルに泊まる。

翌朝は六時朝食でホテル発七時。丘の上に立つキリスト像で有名なコルコバードの丘に行く。前の時にはバスで上ったことを思い出した。現在は電車もあり時間も早く到着できた。丘を下りて、メトロポリタン大聖堂も見学した。信心深いので、入口から覗くだけである。奥の祭壇まで見学する方もいた。

昼食は、ブラジル名物のシュラスコを食べた。バーベキューで、串に刺した肉などを、ウェイターが持つて来る。大きな塊の肉を削ぎ切りにして配って歩いていた。奥の棚にはお寿司や刺身もあつたので、取つてきて食べた。日本人が多いので、刺身などの生ものを置いてあるようである。デザートは無いのではと思つていたら、アイスクリームが来た。

夕方まで、ホテルで休憩をして、リオのカニバルの鑑賞に行く。サンポドロモの特別観覧席で、カーニバルの行進を見た。今夜が最終の行進だそうで行進している人たちも観客に自分の帽子を投げた

り、身に付けている物を手渡して行くこともあり、私たちは、そうして貰えた物を交替で身に付けて写真を写して楽しんだ。

行列は初日に採点されたそうので、点数の低いものから順に行進がなされていた。マイクで出し物の説明があるのだが、語学力のない私はチンプンカンプンである。それでもながめていると、一番先に出てきた物よりも二番目のものの方が、少し豪華になつているとわかった。電気が点灯したり、歩いている人の服装も派手になってくるのだった。毎年、カーニバルのために、お金をかけているまてうで、大変だろうと感心した。それぞれのチームの個性もあり、日本人のグループが通つた時には、私達の前では絵日傘を開いて歩く女性たちがいたし、後方の男性たちは、紋付袴姿で扇子も持っていた。最後まで見ていると、帰りが明け方になるということで、私たちは、一番上等のものは見ないで、ホテルに戻った。

翌日は、昼からポン・デ・アスカー（砂糖・パンの山）に行く。ケープルカーで登り、コパカバーナビーチやいまねまビーチを眺めた。暑い日、海辺ではビーチパラソルが並び、泳いでいる人た



リオのカーニバル

ちの姿が見えた。前に来た時には、ビーチの前のホテルに泊まっついて、海岸を散歩しようと思っ
ていたら、歩道をジョギングしている男性は、拘
りに早変わりする人もいたので、バックは前に持
って歩いて下さいと注意されたことがあった。

今回のツアーには八十名の参加があり、二班に
分けてあった。昨年は百二十人で三班に分けてあつ
たそうだから、リオのカーニバルの希望者が多いの
だと思つた。私も定年までは二月の下旬には休み
が貰えなかつたから、どうしても冬休みに出かけ
たのである。

二回目のブラジルでは、アマゾン川で船に乗り正
月を迎えたことがあつた。沖縄から移民で来たと
いう男性がガイドで、故郷の種籾を送つて貰つて、
出来たもち米で搗いたという雑煮を御馳走して下
さつた。知人の食堂で出された雑煮は美味しかつた
が、お椀ではなくて井に入れて出された。ああ、
お椀など無いのだと淋しく思つたことである。

成田に着いてから、カーニバル見学の証明書を買つ
た。念願のカーニバルを鑑賞することが出来て満足
した。これからも、見たい物や行つて見たい所を元
気なうちに歩き回りたいと思つている。

(エッセイスト)



リオのキリスト像（コルコバードの丘）

